

～教員インタビュー（神津島編①）～

神津島村立神津小学校 教諭

1 島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

子ども一人ひとりと向き合いたいという気持ちが強くあり、少人数の島の学校にアコがれたのがきっかけです。また、特別支援学校がない島だからこそ、これまで勉強してきた特別支援教育の知識を生かし、教育活動を行いたいと思いました。

2 児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

一番少ない学級でも14名いるため、少なく困ることは一切ありません。むしろ、児童の様子や習熟度を捉えやすく、一人ひとりと向き合うことができます。

一方で、良くも悪くも児童のつながりが深いため、人間関係を再構築するのが難しい面もあります。

3 島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

児童の様子や学校体制は内地と比べて、大きな違いはありません。校務については、教員数が少ないので一人あたりの分掌が多く感じます。ただ、人数が少ない分、一丸となって教育に取り組むことができます。

4 仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

事前の説明会等の話も聞いていたので、おおむねイメージ通りでした。

職場だけでなく日常生活でも、先生方や子供たちと関わる機会が多くあります。仕事以外の地域の活動も結果的に教育活動につながるのは、やりがいの一つです。

5 島だからできたことがあれば教えてください。

地域との関わりについては様々な方と仲良くなれるのが島ならではの思いです。そのつながりから、授業のゲストティーチャーとして来てもらったり、学習に関わるサポートをしてもらったりできます。

6 日常生活での買い物はどうしていますか。

家の近くにあるスーパーで買い物をしています。夜遅くまで営業している商店や100均のCan Doもあるので、不自由感は一切ないです。ネット通販も届くので、必要なものは手に入ります。

7 休日は、何をして過ごしていますか？

地域のスポーツ活動に参加したり、職場の同僚、地域の人とご飯を食べたりします。釣りやマリンスポーツを教えてくれる人もたくさんいるので、楽しみがたくさんあります。また、時間があるので英語や天体の勉強を始めることができました。

8 島の学校に来て、最も印象に残っていることを教えてください。

児童の素直さと、元気いっぱいの姿が印象的です。芝一面の校庭で、年齢関係なく遊ぶ子供たちの姿を見て、心が温かくなったのを覚えています。さらに、村内を歩いていると、保護者や児童が挨拶してくれるのが嬉しかったです。

9 島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

時間を有効に使えます。仕事とプライベートの両方を充実させることができるので、自己を高められるのが魅力です。

10 島への赴任を検討している方に一言お願いします。

少しでも興味がある方は、ぜひ挑戦することをおすすめします！
特に神津島は、人が温かく、きれいな海や魅力的な山、素敵な星空、おいしい水に恵まれているので、働く上でも、生活する上でもとてもおすすめです。頑張ってください。